

秋のトンボ調査会 ジュンサイを残そう市民の会

2022年10月16日(日)

例年一般の参加者を募集して『トンボ観察会』を実施していますが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会員による調査のみ行いました。

講師

互井 賢二氏 房総蜻蛉研究所(行徳トンボ研究室)



曇りで気温が上がらず、アキアカネが飛んでいませんでした。今回は、オオアオイトトンボ等のイトトンボ類の搜索を中心に26名の参加者が網を振りました。

じゅん菜池管理地内 調査結果

No.	科名	種名	♂	♀	小計	memo
1	アオイトトンボ科	オオアオイトトンボ	2	1	3	日本で唯一「樹木」に産卵
2	イトトンボ科	アオモンイトトンボ	1	-	1	
3	イトトンボ科	アジアイトトンボ	1	-	1	
4	イトトンボ科	ホソミイトトンボ	-	-	0	県R2019: Bランク
5	ヤンマ科	ギンヤンマ	-	-	0	方言: ♂・ギン、♀・チャン 老熟♀・渋チャン
6	ヤンマ科	クロスジギンヤンマ	1	-	1	目撃
7	トンボ科	シオカラトンボ	-	-	0	
8	トンボ科	アキアカネ	-	1	1	中部地方以北: 赤とんぼ
9	トンボ科	コノシメトンボ	-	-	0	県R2019: Dランク
10	トンボ科	ウスバキトンボ	-	-	0	西日本: 赤とんぼ; 盆トンボ・精霊蜻蛉
		合計	5	2	7	



オオアオイトトンボ

水辺の張り出した若い生木—ハンノキなどに産卵します。午後3時くらいから夜中まで、一本の枝に10組くらいまとまって産卵していたりもします。卵から孵ると、下の水域に入りヤゴになります。

昔は、お札の原料となるコウソヤミツマタに多数産卵するため、お札を食う害虫として新聞に掲載されたことがあるようです。オオアオイトトンボがとてもたくさんいたのですね!!



ナニワトンボ



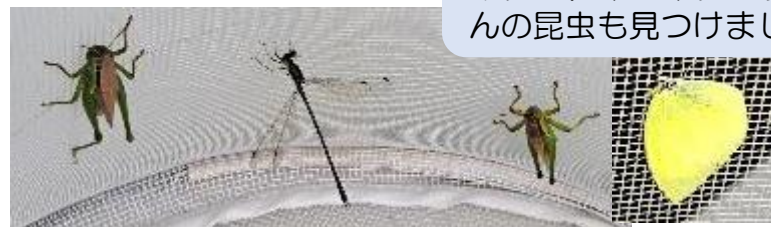
ムツアカネ



ネキトンボ羽化殻、キトンボ、ゲンバイトンボ、ニホンカワトンボ

後半は、講師作成の標本を観察し、講師に解説をして頂きました。標本はトンボにとどまらず、クマゼミとその抜け殻の標本も多くあり、皆で違いを観察しました。

トンボ以外にも、コバネイナゴ、イナゴ、キタキチョウなどたくさんの昆虫も見つけました。



浅い水槽には、ショウジョウトンボのヤゴがいました。